



## 日光ブランド認定式典



雪の降りしきる2月8日(土)、市役所本庁舎で日光ブランド認定式典が行われました。

日光ブランド認定制度とは、市内に点在する自然や歴史、文化などの地域資源を日光ブランドとして認定し、広く世界に発信することによって、市のイメージを高め、地域や産業の活性化を図ることを目的とするものです。

平成25年4月までに自然、歴史、文化、風習の4つの分野で合計151件の応募を受け、有識者で構成する日光ブランド認定審査委員会が113件をノミネートし、一般投票や3回の審査を経て、47件が認定されました。認定された地域資源は、今後、市ホームページや広報紙などへの掲載、各種プロモーション活動を行っていきます。

歴史分野の平家落人伝説で認定を受けて出席した地域おこし協力隊の土屋さん(栗山)は「古くからの伝説を地元の方々から聞き、応募しました。栗山の地域振興になればうれしいです」と答えてくれました。



2月1日(土)・2日(日)の2日間、鬼怒川温泉駅前広場で、鬼怒川温泉鬼まつりが開催されました。節分の「鬼」と鬼怒川の「鬼」をかけたイベントで、今年で14回目を迎えました。

龍王太鼓の披露や宿泊券などの豪華商品が当たる大抽選会、地元食材を生かした料理の試食会が



行われ、中でも大ガラクマキ大会では、「福は内、鬼も内」との掛け声とともに旅館・ホテルの女将などが菓子や福銭の入った福袋をまくと、会場は大きな歓声に包まれていました。



2月7日(金)・11日(火・祝)に憾満ヶ淵と含満街区公園で、日光キャンドルページェント2014が開催されました。「日光四季祭」の一環として開催されたこのイベントは、文芸芸術大学の学生によるキャンドルアートや花火も行われ、約3,500個のろうそくが灯る会場は、



神秘的な雰囲気にも包まれました。また、たき火がたかれた会場では温かい飲み物が振る舞われ、来場者をもてなしました。家族3人で来場した森田さん(本町)は「近所なので毎年来ていますが、年々スケールアップしていて今年も素晴らしいかったです」と話してくれました。

## 鬼怒川温泉鬼まつり

## 日光キャンドルページェント

## 湯西川温泉かまくら祭



1月25日(土)から、湯西川温泉で、冬の風物詩としてすっかり定着した湯西川温泉かまくら祭が開催されています。

このイベントは、日本夜景遺産にも認定されており、毎年大勢の観光客でにぎわいます。昼はソリ遊びや、大きなかまくらの中でのバーベキュー、夜は河川敷に並ぶミニかまくらの幻想的な光景が人気です。



東京都品川区から訪れた庄田さんは、昼間に受けたインタビューに対し、「湯西川温泉には初めて来ました。死ぬまでに一度は行きたい世界の絶景という本にこのイベントが掲載されていたので、楽しみです」と話してくれました。湯西川温泉かまくら祭は、3月9日(日)まで開催されています。

## 成人式



1月12日(日)、市内5地域で、成人式が開催されました。

取材で訪れた今市地域の成人式では、記念撮影や成人の主張、新成人代表あいさつなどが行われました。

式典終了後のアトラクションでは、新成人自身の企画により、中学校時代の担当教師からのメッセージが流されました。また、当時の写真のスライドショーも流され、会場からは懐かしむ声や歓声が上がっていました。

木村浩一郎さん(今市)は「これからは責任が出てきます。子どもの心を忘れずに、メリハリを付けられる大人になりたいです」と意気込みを聞かせてくれました。

なお、この日市内5地域で合計802人の新成人が、成人式に参加しました。



## 小杉放菴記念日光美術館「ユイヤーコンサート」



1月26日(日)に、小杉放菴記念日光美術館で、新年を祝うイベントとして恒例となっている「ユイヤーコンサート」が開催されました。

出演は、宮地ゆみさん(ピアノ)、八巻一康さん(バイオリン)、糸川正子さん(バイオリン)、糸川吉見さん(ビオラ)、本澤洋一さん(チェロ)の5人で構成される「マロニエ・アンサンブル」で、アレクサンドル・ポロディンの「ピアノ五重奏曲」や、ヨハン・シユトラウス2世の「皇帝円舞曲」などが演奏されました。

観客の皆さんは、奏でられる美しい音楽に魅了されていました。演奏を聴いた藤井さん(小来川)は、「毎年、来ています。今年もとても楽しく聴かせていただきました」と、話してくれました。